

入札後審査型一般競争入札の実施

入札後審査型一般競争入札とは、一般競争入札に参加するための入札前の申請手続きを簡略化し、開札後に落札候補者から順に入札参加資格の確認を行い、適格である者を落札者として決定する入札方式です。

これまで本市では、一般競争入札に参加するために、開札前に入札参加資格審査を実施していましたが、この手続きを簡略化し、開札後に落札候補者のみ入札参加資格の確認を実施することとし、入札参加にあたる事務負担の軽減に努めます。

